

保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		公表						
有限会社ブリズム ルシェル荒尾		公表日 令和 6 年 9 月 28 日						
		利用児童数			5 人		回収数	
環境・体制整備	1	チェック項目 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい 4	どちらともいえない 1	いいえ 2	わからない 1	ご意見 ・運動スペースがもう少し広いとあります。 ・運動療育に関しては、新しいトレーニングシステムを使用することで、広さがなくても、身体機能向上プログラムを実施していきます。	ご意見を踏まえた対応
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	はい 3	どちらともいえない 2	いいえ 2	わからない 1	・とても手厚くありがとうございます。 ・手厚く見ていただけていると思っています。安心です。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切になされていると思いますか。	はい 4	どちらともいえない 1	いいえ 2	わからない 1	・気にかけてくれていると思う。 ・ホワイトボードを使用して、スケジュール管理でき、見通しが立ててると思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	はい 4	どちらともいえない 1	いいえ 2	わからない 1		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	はい 5	どちらともいえない 2	いいえ 3	わからない 0	・子どもの発達状態に応じた個別活動や関わり方をしてもらっている感じています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	はい 5	どちらともいえない 2	いいえ 3	わからない 0		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	はい 5	どちらともいえない 2	いいえ 3	わからない 0	・契約時に伝えた親の希望や思いが個別支援計画にしっかりと反映されました。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	はい 5	どちらともいえない 2	いいえ 3	わからない 0	・家族支援や移行支援については、項目の設定がなく分かりませんでした。	・令和6年4月の法改正に伴い、「個別支援計画」の書式も変更になりました。その際、個々に必要な項目を示した上で、支援内容を設定いたします。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	はい 5	どちらともいえない 2	いいえ 3	わからない 0	・集団生活に少しずつ慣れていくような支援をしてもらっています。	・5領域（健康・生活・運動・感覚・認知・行動・言語・コミュニケーション・人間関係・社会性）との関連性を明確にした上で、支援を行っていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	はい 5	どちらともいえない 2	いいえ 3	わからない 0	・毎回違った活動や外出をしてくださっているので、とても楽しめていそうです。	・引き続き、夏季プールや季節のイベント行事等を大切にしながらプログラムを組み立てていきたいと思います。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	はい 2	どちらともいえない 1	いいえ 2	わからない 0	・他の子どもと活動する機会は、現時点ではありませんでしたが、子どもが環境の変化に敏感な為、良かったと思っています。	・必要性やご意向を伺いながら、すすめてまいります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	はい 5	どちらともいえない 2	いいえ 3	わからない 0	・説明書に沿って読み合わせがあり、確認したい点など聞けて良かったです。	
保護者への説明	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	はい 5	どちらともいえない 2	いいえ 3	わからない 0	・説明はなくサインのみ求められたので心配でした。帰宅して内容を確認しました。	・不安のないよう、「分かりやすい丁寧な説明」を徹底いたします。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	はい 3	どちらともいえない 1	いいえ 1	わからない 0	・一度見学させてもらい、子どもの様子や支援内容を見る事ができ良かったです。	・今後は面談だけでなく、研修会や地域の保護者様向け連絡会、サロン等の情報提供もさせていただきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	はい 5	どちらともいえない 2	いいえ 3	わからない 0	・お迎え時に、一日の様子を細かく教えていただけています。 ・ノートを通して連絡を取り合っています。 ・残ったお弁当の具材を細かくカットしてください。 ・誤飲にも注意してくださっています。	・送迎時や面談などの機会を大切に、双方の思いやニーズを共有していきたいと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	はい 5	どちらともいえない 2	いいえ 3	わからない 0	・お迎え時に子育てで悩んでいる事を聞いてもらえて心が軽くなりました。	・子育てサポート加算、家族支援加算を定期的に行ってまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	はい 5	どちらともいえない 2	いいえ 3	わからない 0	・子どもの成長と一緒に喜んでもらえてとても嬉しいです。	

等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	1	2	・保護者会等なく、個人的には負担が少ないでの、ありがとうございます。 ・保護者様のご意向を伺いながら計画を立てていきたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4				・相談などの申し入れがしやすい体制づくりに努めてまいります。また、相談事に迅速に取り組めるようにしてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4				・活動の写真でルシエルでの様子を見ることができます。 ・行事予定や活動概要の掲載、ホームページで自己評価結果を発信させて頂きます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4				・契約時に個人情報取扱いの希望を細かく指定させてもらえ、安心しました。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3			1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			1	・年2回の法定訓練の他、曜日毎の訓練も1ヶ月毎に実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3			1	・日頃の事業所自己点検を継続するとともに、活動場所や活動内容に応じて、危険排除をしております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2			2	・事故等ないので分かりませんが、信頼しています。 ・怪我の大きさに関係なく、迅速な連絡と説明を行ってまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4				・お話をできないので分かりませんが、通所時に泣いていてもお迎えに行くと良い表情をしているので、親は安心しています。 ・子どもも大人も安心しています。 ・安心感を持って通所していただけるよう、情報提供と事業所のお知らせを細やかに丁寧に行っていきたいと思います。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4				・とても楽しみにしています。 ・毎回、通所を楽しみにしています。 ・個別支援の充実に合わせて、楽しみのある療育の場を工夫してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4				・家庭ではできないような活動をして頂き、満足しています。 ・運動プログラムも色々変えて頂き、とても満足しています。 ・とても分かりやすく丁寧な対応で感謝しかないです。 ・日々、子どもの適切な支援を心がけ、また、既存のプログラムに満足する事なく、支援の充実を目指してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		有限会社プリズム ルシェル荒尾				公表日 令和 6 年 9 月 28 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・療育時、パーテーション等の使用で、支援に集中できるよう環境を整えております。	・基準に準じてスペースを確保しています。各活動の場面に応じて、適宜工夫して使用しています。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・ご利用者の定員に合わせた職員数を配置しております。	・配置基準に基づき配置しています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・子どもが使いやすいように配置を確認したり、ホワイトボードで絵や文字の大きさに配慮した上で、視覚的な掲示を心がけています。 ・段差が少なく、安全に配慮しています。	・今後もお子様に合わせて環境を整えてまいります。ホワイトボードや絵カード、掲示物等の室内レイアウトの工夫も行ってまいります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎朝の清掃・消毒を行っております。	・清潔空間にて気持ちよく過ごせるよう努めています。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	・必要に応じてパーテーションで区切り個別のスペースを作っています。 ・必要に応じて、テントや段ボールハウスをおいてクールダウンができるように心掛けています。	・個々の特性に合わせて、配慮のある空間づくりを行ってまいります。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・職員間で情報のやり取り、目標設定が出来るよう定期的に研修を行っております。	・カンファレンスや日々のミーティングでの意見交換を行っております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・年に一度アンケートを行っております。また、ホームページにてその内容を報告しております。	・今後も保護者様のご意見や自己評価の意見を踏まえながら改善に努めてまいります。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・日々のミーティングや定期カンファレンスにて、意見交換、情報共有、業務改善等を行っています。	・日々のミーティングや定期カンファレンスを継続して行ってまいります。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	・外部評価は行っておりませんが、年に一回保護者様へのアンケート実施を行っております。	・現段階では、内部の評価のみとなっておりますが、今後は第三者による評価を検討してまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・毎月の社内研修に加え、定期的に社外研修にも参加しています。	・職員の資質向上を目標に、今後も定期的な研修参加を行ってまいります。	
適切化	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・5領域を関連付けた支援プログラムを作成しております。	・今後、ホームページおよび、お知らせを発公して公表いたします。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		・保護者のニーズを聞き取り、確認した上で個別支援計画を作成しています。	・子どもの意思の表出・形成・表明・実現の過程を大切にし、適切なアセスメントが出るよう取り組んでまいります。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・職員間で意見交換、情報共有した上で、行っています。	・「子どもの最善の利益」を考慮する検討会を行ってまいります。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・定期的に共有し、日々のミーティング時にも支援内容の確認を行っています。	・計画通りに支援が行われるよう、支援前の情報共有と役割分担の確認を継続いたします。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・標準ツールを使用するとともに、必要に応じて、ツールの改善作業を行っています。	・今後も、日々の行動観察の共有を大切にしインフォーマルなアセスメントの積み上げを行ってまいります。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・令和6年4月の法改正にて、順次新様式計画書に変更しています。新たな項目他、個々の必要性に合わせて項目や支援内容を設定しています。	・新たな項目に関しては、特に説明の必要があり、分かりやすくご説明していきます。	

支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・活発に意見が出せるように、風通しの良い職場環境作りに努めています。	・カンファレンスやミーティングにて、意見交換を行った上で、立案しております。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・日々のミーティングにおいて、利用児童の特性等を確認をした上で、適切なプログラムを組み立てて実施しています。	・引き続き、チーム間で意見を出し合い、活動プログラムを立案していきます。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・お子様に合った活動が行えるよう、定期的な聞き取りの他、職員間でも情報共有と意交換をして行っています。	・チーム間で意見を出し合い作成しており、個別活動集団活動を組み合わせた上で支援を行っております。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・支援前ミーティングにて打ち合わせを行っています。	・日々の朝礼やミーティングを大切にした上で連携し、支援を行っております。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・終業前に必ず打ち合わせを行い、その日の振り返りを行っております。 ・時折送迎などで行うことができないこともありますが、翌日行えるようにしています。	・日々の朝礼やミーティング、終業前打ち合わせにて振り返りを行うとともに、気付きや、改善点、工夫すべき点などを共有しております。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	・実施記録、経過記録、業務日報、共有ノート、連絡帳、送迎表等を活用し、記録の徹底に努めています。	・記録をしっかりととった上で、支援の検証および改善に努めてまいります。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・個別支援計画の更新時期に聞き取りを行い職員間で見直しを行っております。	・今後も定期的なモニタリングを継続するとともに計画の見直しを行っていきます。
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・ケース会議等に、自発管や担当職員が参加し、意見交換や情報提供をさせて頂いております。	・引き続き、担当職員や自発管の参加にて、ケースに合った情報提供が出来るよう臨んでまいります。
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・整えており、会議や連絡があった際には、必要に応じて情報提供、情報共有をしております。	・今後は、連携した支援を行っていくよう関係機関への積極的な情報共有に努めます
	26 併行利用や移行に向けた支援を行つなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	・ケース会議等に出席し、情報共有を行っています。関係機関にも適宜声掛けし、情報共有を求めています。	・より積極性を持って情報共有を行ってまいります。
関係機関や保護者との連携	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・ケース会議、または必要に応じて電話や書面にて情報共有を行っております。	・引き続き行ってまいります。
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		・機会があった際には積極的に研修に参加しております。また、必要時には助言やアドバイスを受けております。	・引き続き研修参加に努め、また、助言等においては積極的に受けよう努めます。
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	3	2	・コロナ等感染症に対する不安材料があり、積極的に機会を設けておりませんでした。	・必要に応じて活動機会を設け、子どもや保護者様のご意向等も確認した上で交流の場の提供に努めてまいります。
	33 曜頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・送迎時には保護者様に当日の活動内容とご様子をお伝えするようにしております。	・個別サポート加算を通して、より具体的に活動内容や支援内容、療育中のご様子をお伝えするように努めております。

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・入口付近に情報の掲示をしております。 ・事業所に外部からの案内が来た場合は配布を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示だけでなく、積極的にお声掛けを行い必要に応じて情報提供を行っていくよう努めてまいります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・ご契約時に行っております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい丁寧な説明ができるよう、職員の資質向上に努めます。

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・保護者様には聞き取りにて意向確認を行い子どもには、通所時の関わりの中で聞き取り、移行確認を行っております。	・子どもの意思の尊重と最善の利益の優先考慮を踏まえた上で、意思形成支援・意思表明支援も合わせて行ってまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		・保護者様へ個別支援計画の内容をお伝えし同意を頂いております。	・お子様の状況や課題、ニーズに合わせて作成し、少しでも不安のない中ですめられるように説明していきます。また、令和6年4月の法改正により、計画の様式も変更になっているため、ご領域を含めより丁寧な説明をするよう努めてまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・送迎時の情報共有の他、個別での面談希望に対応しております。	・個別での面談の他、令和6年4月の法改正後は、家族支援加算を通して、定期的に面談の機会を設けております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		・保護者様やごきょうだいも参加できるような行事の計画を立てております。 (お茶会)	・参加型の行事の他で交流機会のご要望に対しては、今後検討してきたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・お子さまや保護者様から相談の申し入れがあった際には適宜対応させて頂いております。また、相談しやすい環境作りにも努めてまいります。	・言いづらい事、言いにくい事が言えるように、日頃からの信頼関係の構築に努めてまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・月々のご利用明細書のお知らせでも、活動内容をお伝えさせていただいております。	・ホームページの定期的な更新にも、努めてまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・事業所内では鍵のかかる場所に個人情報を保管しております。	・個人情報の取り扱いには細心の注意を払うとともに、子どもたちにも個人情報の取扱いについて発信しています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・お子様の発信方法等に合った聞き取りが出来るよう型にはめずお話を聞くよう心がけています。	・お子様からの申し出があった場合には、場所等配慮しながらお話をきいております。また、保護者様から申し出があった場合には、別途面談時間を設けております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	・コロナの影響もあり、実施には至っておりませんが、年間行事計画には地域との交流がもてる計画を立てております。	・情勢を考慮し、衛生・感染対策等を徹底しつつ、地域活動の実施に向けて努めてまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・ご契約時にマニュアルがある旨の説明をしております。	・マニュアルの策定および訓練の実施をしておりますが、ご契約時のマニュアル説明が充分でなかったり、訓練後の報告が徹底されていなかった部分もあるため、今後は、保護者様へのご説明とご報告を徹底してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・BCPの策定は済んでいます。	・非常災害時訓練も定期的に行い、また、訓練実施後の報告も行ってまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・アセスメントツールにも記載し、確認漏れのないように努めております。	・服薬内容の変更等も、適宜聞き取りを行い最新情報の共有に努めます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・事前聞き取り・ご提出書類等で確認しております。	・おやつを提供しているので、細心の注意を払っております。アレルギーに該当するおやつは利用日でなくとも安全のため、提供していません。事前聞き取りやご提出書類等で確認しておりますが、変更等に備え適宜聞き取りを行ってまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・安全管理マニュアルに基づき、日々の環境整備にて点検作業を実施しております。	・リスクの高い場面に対しても、綿密な企画立案にて、支援を行うよう努めております
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・安全管理に関する事項について、日頃から職員間で共有しております。	・職員間での周知にとどまっており、今後は保護者様への周知にも努めます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ヒヤリハットがあった際には、ミーティングやカンファレンスにて共有し、再発防止策を立てて実施しております。	・事業所内だけでなく、法人内でヒヤリハット事例を共有し、事故防止に努めております。

	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・定期的に虐待防止に関する研修（社内・社外）に参加し、また、虐待防止委員会の参加、虐待防止に関するチェックリストを活用した、虐待防止への取組みを行っておりま す。	・引き続き、虐待防止委員会への参加と定期的な研修への参加を継続し、虐待防止への取組みを行ってまいります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		・身体拘束に関して、ご契約時に説明してお ります。	・現在身体拘束を行うお子様や場面はありませんが、必要がある際には必ず保護者様への説明、記録等を行ってまいります。また どのような場合に拘束するかは重要事項説明書にて明記させていただいております。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	有限会社プリズム ルシェル荒尾			
○保護者評価実施期間	令和 6 年 9 月 1 日 ~ 令和 6 年 9 月 20 日			
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	5	(回答者数) 3		
○従業者評価実施期間	令和 6 年 9 月 1 日 ~ 令和 6 年 9 月 20 日			
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	6	(回答者数) 6		
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6 年 9 月 28 日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達状態に応じた集団活動が出来る	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のニーズに合わせた療育の実施を軸に、日常動作訓練、創作的活動、機能訓練、集団生活適応訓練を日々の活動に取り入れている。 ・ソーシャルスキルや即時反応を高める指導を行っている。聴覚や集中力、自発性、表現力などへの働きかけを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様に分かりやすくフィードバックできるツールの活用を検討する。
2	季節毎のプログラムや行事がある。 夏季に日水遊など、定期的に屋外活動がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・水の楽しさだけではなく、危険も学び、水遊びのルールを理解できるよう指導する。 ・脳の活性化と集中力アップに取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の習得できるような指導の取組みを行う。 ・身体の基礎づくりの取組みを行う。
3	手厚い支援体制	<ul style="list-style-type: none"> ・各職員が個々に関わりを持ち、療育に携わっている。個々の療育内容を職員間で共有し、スマーリステップを全員で分かち合うようにしている。 ・日々の活動の様子を書面で記録をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサポート加算や家族支援加算を定期的に活用して保護者様への相談援助やフィードバックを大切にしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門的支援の定期化	<ul style="list-style-type: none"> ・言語聴覚士による支援のニーズが高いが、採用に至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門人材の配置と「専門的支援実施加算」を検討していく。
2			
3			